



# バスダクト床専用キット

## 取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本紙をよくお読みの上、現場の状況に合わせて正しく施工してください。

# 工法表示ラベル が入っています

構成材料一覧 (数量をご確認ください。)											
品番	適用開口面積 (m <sup>2</sup> )	耐火ブロック (個)				⑤ 補助充填材 (個)	⑥ バスダクト点検時注意シール (枚)	⑦ 支持板補修用アルミテープ (枚)	⑧ 取扱説明書 (枚)	⑨ 工法表示ラベル (枚)	梱包質量 (kg)
		① C-SS	② C-S	③ C-L	④ C-LL						
CT-003	0.03以下	4	5	2	—	—	—	—	—	—	0.7
CT-010	0.10以下	4	6	6	3	10 (1連)	1	1	1	1	1.9
CT-020	0.20以下	8	8	10	8	20 (2連)	—	—	—	—	3.6

※ 開口面積が0.20m<sup>2</sup>を超える場合 (認定条件: 0.6m<sup>2</sup>以下) は、開口面積分の品番を組み合わせるご使用になるか、または弊社にご相談ください。(組み合わせの例: 開口面積0.30m<sup>2</sup> → CT-010 + CT-020)

梱包内容 (単位:mm)					別売品 (単位:mm)	
① 	② 	③ 	④ 	⑤ 	⑥ 	⑦ 
耐火ブロック (C-SS) 50×50×25	耐火ブロック (C-S) 100×50×25	耐火ブロック (C-L) 200×50×50	耐火ブロック (C-LL) 300×50×50	補助充填材 10×50×7 (熱膨張材入り、 10個/1連)	バスダクト 点検時 注意シール	支持板補修用 アルミテープ
				⑧ 	⑨ 	
						⑩ 
						⑪ 
						⑫ 

国土交通大臣認定 (1時間耐火) と適用条件		
国土交通大臣認定番号	PS060FL-0342	
開口面積	0.60m <sup>2</sup> 以下 (矩形)	
貫通物	占積率	バスダクト 21.6%以下 ケーブル 0.5%以下
	種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスダクト 導体サイズ 3000mm<sup>2</sup>/枚以下</li> <li>ケーブル 導体サイズ 6kV 325mm<sup>2</sup>以下 (1本あたり)</li> </ul> ただし、100mm <sup>2</sup> を超える場合は、ダンシール-P (別売品) を幅20mm以上、高さ50mm以上で盛り付けてください。
貫通する床の構造	鉄筋コンクリート床 (中空床除く) 厚さ100mm以上	
鋼製スリーブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>有り 板厚1.6mm以上</li> <li>無し</li> </ul>	

### 施工例

(単位:mm)

鋼製スリーブ有りの例

※鋼製スリーブ無しでも施工できます。

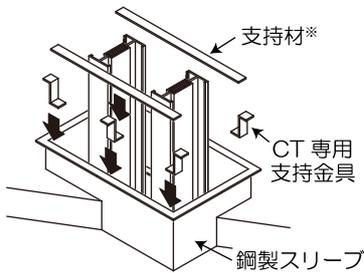
## 施工手順

- ① 開口部の状況に合わせて、CT専用支持金具(別売品)と支持材\*を設置します。CT専用支持金具は、下表を目安に設置します。CT専用支持金具と支持材は、適宜粘着テープやねじで固定してください。

\* 支持材(鋼板やチャンネル材(幅30mm以上、厚さ1.6mm以上))は、別途ご用意ください。

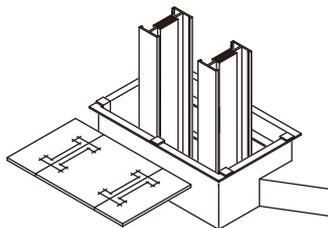
### CT専用支持金具の設置数の目安

開口幅 (mm)	設置数
400以下	両端2組
400~800	両端2組、中間1組
800~1200	両端2組、中間2組

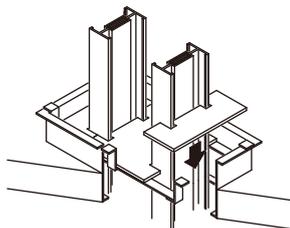


単心の電力ケーブルが貫通する場合は、同一回線のケーブルの間に支持材・支持金具を入れないでください。

- ② 開口及び貫通物に合わせて、支持板(別売品)を加工します。

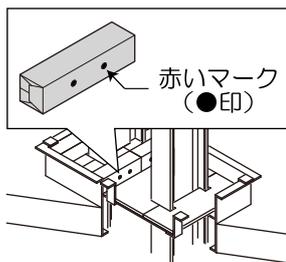


- ③ 加工した支持板をCT専用支持金具(別売品)、支持材\*で支えるように設置します。



- ④ 貫通物の形状に合わせて耐火ブロックを充填します。

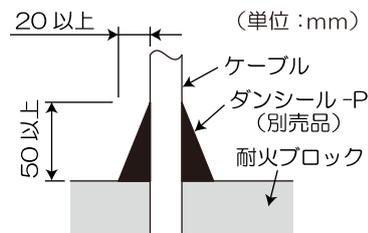
耐火ブロックの赤いマーク(●印)が、表に出ないように充填してください。



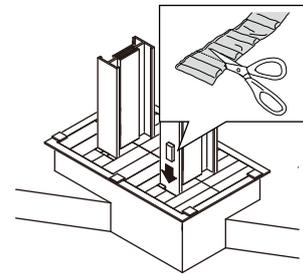
ケーブルは、バスダクトや鋼製スリーブと接触しないよう配置してください。また、ケーブルは束ねず、1本1本を離して間に耐火ブロックを挟んで配置してください。



導体断面積が100mm<sup>2</sup>を超えるケーブルに対しては、耐熱シール材ダンシール-P(別売品)を耐火ブロックの上面から高さ50mm以上、幅20mm以上盛り付けてください。

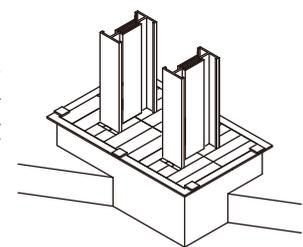


- ⑤ 耐火ブロックが入らないような小さな隙間には、補助充填材を差し込みます。補助充填材は、熱膨張材が入っていない部分をハサミ等で切断して使用します。



変形させた耐火ブロック周辺、バスダクトの形状による隙間にご注意ください。

- ⑥ 耐火ブロックが脱落したり、隙間を生じたりすることが無いよう、十分密に充填されていること、全体に隙間の無いことを認して下さい。



- ⑦ 最後に「バスダクト点検時注意シール」を見える位置に貼り付けてください。



バスダクトは、通電後の温度変化に伴って伸縮する場合があります。本表示を行い、定期的な検査等で防火措置を適切に維持してください。

## 施工上の注意事項

### 耐火ブロックの取扱いについて

- 耐火ブロック及び補助充填材は、火災時の熱によって膨らみ、隙間を閉塞する機能がありますが、「開口部に隙間無く詰める」ことを基本とし、ていねいに施工してください。
- 耐火ブロックは、大小合わせて標準開口面積の1.25倍の量が梱包されています。開口部の状況に合わせて適宜使い分け、曲げたり、圧縮したりしながら充填してください。
- 耐火ブロックは、軽く引っ張っても抜けない程度に密に充填してください。充填量が不十分な場合、防火性能に影響する可能性があります。
- 耐火ブロックが不足する場合は、品番CT-003等をご用意ください。
- 耐火ブロックは、分解や切断をしないでください。また、破損した耐火ブロックは、使用しないでください。
- 耐火ブロックは、赤いマークが表に出ないようにブロックの方向に注意し、充填厚が50mmとなるように詰めてください。

### 施工上の注意について

- 仕上がり外観を重視するような場所では、施工後、必要に応じて化粧板等を使用してください。
- 防水機能はありません。直接雨水等がかかったり、常に高湿度になったりするような場所には使用しないでください。必要な場合は、別途防水・撥水処理を行ってください。
- 貫通物の支持機能は、ありません。別途固定支持を検討してください。
- 防火措置部の上に乗らないようご注意ください。開口部を破壊して転落したり、隙間を生じて火災が貫通する恐れがあります。

### 施工後の注意について

- バスダクトは、通電後の温度変化に伴って伸縮することがあります。この伸縮の影響により、耐火ブロックにずれや抜けが生じる恐れがありますので、施工後の定期的な検査などで、このような状態が確認された場合は、耐火ブロックを押し込むなどして適切な状態に戻してください。
- 防火措置材のずれが度々生じる場合は、必要に応じて各部材のずれ対策を適宜ご検討ください。

### 改修時について

- 下記のような状態の耐火ブロックは、新しいものに交換してください。
  - (ア) 包装材が破れて中が露出したもの。
  - (イ) 施工品質を保てないような変形をしているもの。
  - (ウ) 油などの異常な汚れがあるもの。
  - (エ) 水浸しになったもの。
- 支持板が損傷している場合は、交換してください。
- 再施工後は、工法表示ラベルを更新してください。

### 工法表示ラベルについて

- 工法表示ラベルは、本製品に1枚同梱しております。
- 工法表示ラベルを紛失した場合は、弊社ホームページ(下記)から請求できます。

ケーブル防災設備協議会会員：古河電気工業株式会社

工法表示ラベルの発行に関しては、古河電気工業株式会社の委託を受けております。

技術事項のお問い合わせは

株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5-1-8

TEL (0463) 24-9341 FAX (0463) 24-9346

ホームページアドレス <http://www.furukawa-ftm.com/bousai/>